

## 審議会等の会議結果報告

1 会議名	令和7年度 第1回 松阪市松浦武四郎記念館運営審議会
2 開催日時	令和7年9月25日(木) 午後1時30分～午後3時00分
3 開催場所	松阪市小野江町383番地 松浦武四郎記念館 多目的室
4 出席者氏名	委員(◎委員長、○副委員長)8名 ◎萬濃 正通、○松本 良弘、松浦 史明、松浦 綱、鈴木 えりも、 山村 吉弘、伊達 隆、中村 千恵 事務局 7名 岡田 久 (産業文化部 部長) 松葉 和也 (同部 文化担当参事 兼 文化課長) 梶間 正也 (同部 文化課 課長補佐) 寺嶋 昭洋 (同部 文化課 文化財担当主幹)、 山本 命 (松浦武四郎記念館 館長) 佐藤 圭祐 (同館 学芸員) 世古 詩央里 (同館 学芸員) ※会計年度任用職員
5 公開及び非公開	公開
6 傍聴者数	なし
7 担当	松浦武四郎記念館 TEL 0598-56-6847 FAX 0598-56-7328 E-mail matsutake.k@city.matsusaka.mie.jp

### 協議事項

- (1) 令和7年度 運営状況報告
  - ①松浦武四郎記念館
  - ②松浦武四郎記念館誕生地
  - ③武四郎まつり
- (2) その他

令和7年度 第1回 松阪市 松浦武四郎記念館 運営審議会 議事録

日 時：令和7年9月25日（金） 13時30分～15時00分

出席者：7名（事項書委員名簿順）

委員 松浦 史明（松浦武四郎直系子孫）  
委員 松浦 綱（松浦武四郎実家子孫）  
委員 鈴木えりも（松阪市文化財保護審議会 委員）  
委員長 萬濃 正通（松阪市小野江小学校 校長）  
委員 山村 吉弘（松阪市小野江公民館 館長）  
委員 伊達 隆（本居宣長記念館 館長）  
副委員長 松本 吉弘（旧長谷川治郎兵衛家・旧小津清左衛門家・原田二郎旧宅 館長）  
委員 中村 千恵（三重県総合博物館 学芸員）

欠席者：1名

委員 五嶋 伸幸（松阪北部商工会 会長）

事務局：7名

岡田 久（松阪市産業文化部 部長）  
松葉 和也（文化課 課長）  
梶間 正也（文化課 課長補佐）  
寺嶋 昭洋（文化課 文化財担当主幹）  
山本 命（松浦武四郎記念館 館長）  
佐藤 圭祐（松浦武四郎記念館 学芸員）  
世古詩央里（松浦武四郎記念館 学芸員）※会計年度任用職員

傍聴者：なし

内 容：1. 開 会

2. 委員委嘱 産業文化部 岡田部長から伊達委員に委嘱状を交付  
3. あいさつ 産業文化部 岡田部長  
松阪市松浦武四郎記念館運営審議会 委員長 萬濃 正通  
4. 協議事項 事項書に沿って下記の報告を行い、質問・意見をいただいた。  
(1) 令和7年度 運営状況報告  
①松浦武四郎記念館  
②松浦武四郎記念館誕生地  
③武四郎まつり  
(2) その他  
5. 閉 会

①夏休みの小中学生応援企画について

委員 開催するきっかけと企画を行うに關しての記念館職員全体のモチベーションの持っていていき方、参加された方の声で印象深かったことなどはあるか。

事務局 松阪市内の博物館でも様々な取り組みをしている中で、当館も何かできないか考えたことがきっかけである。とりあえず成功するかどうかはわからないが、やってみようということで、展示ポスターやチラシに掲載したほか、広報まつさかに掲載するなど、できる範囲で広報を行った。

「たけちゃんからの挑戦状」(クイズ)は、来館者全員にお声がけして442名の方に参加していただいた。回答シートに「楽しかった」と記入があったほか、正解者に記念品としてメモ帳をプレゼントしたが、喜んでいただいた。

「自由研究を応援します」は、津市から来館された子が地図について疑問を持ち、するどい質問をしていただいたことが印象的だった。

他市では自由研究のコンクールを開き、ホールなどで展示されるが、松阪市では自由研究のコンクールが無いため、松阪市内の子どもたち方で夏休みの自由研究を目的に来館された方は確認できなかった。

委員 本居宣長記念館では、市内の子どもたちが宣長学習の成果を発表する場として、新聞などの掲示物をお借りして桜松閣という建物で展示をしているので、参考にしていきたい。

事務局 松浦武四郎誕生地でも何かできればと思い、夏休み企画として誕生地の絵を描くために離れ座敷を開放した。この企画は松阪歴史文化舎が原田二郎旧宅開催しているものを参考としたが、誕生地の企画は開催期間が夏休みいっぱい長く、誕生地を管理する松浦武四郎誕生地保存会の会員からは期間を短くしたほうがよいのではとの意見を頂いた。

副委員長 原田邸では期間を二週間と設定し、先生による絵の指導や展示も行っている。子どもたちには参加賞を配るなど、「行きたい!」と思わせる工夫もしているので参考にしてもらいたい。

委員 長い期間より2日ほどに限定して部屋を開放してはどうか。描き切れなかった子に關しては、個別で予約を取るなどすれば、また来てもらえるのではないか。

## ②今後の武四郎記念館・誕生地の活動について

委員 資料閲覧や資料掲載などについて、武四郎関係資料の整理や解読が進んで、細かいところが明らかになり、武四郎の記録によって全国各地と繋がりが持てるのではないかと思う。これからも武四郎の「縁」が全国各地に広がっていくことを期待している。

事務局 関西大学の教授から現在研究対象としている資料群の中に武四郎に關する資料があることをお聞きした。また、武四郎と親戚關係にあたるお家から武四郎關係の資料があるかもしれないとのことで、土蔵の中を拝見する機会がある。こうした資料から武四郎のご縁で様々なところにつながっていくことができると思う。

委員 松浦武四郎記念館の講座に参加をして武四郎のことを学ぶと、すごい人だと思っていたが、テレビ番組の「レジェンド」を見て、あらためて「武四郎は地元の英雄なんだ」と考えるようになった。これからも武四郎の新たな研究が進むことを

期待している。

委員 若手の学芸員たちには、新しい発見につながるように、その時代の様相を理解し、歴史の中に武四郎を落とし込む視点を持ってもらいたい。

以上